

お客様各位

株式会社パーキンエルマージャパン
ライフサイエンス事業部 部長 佐藤 博之
カスタマーサービス部 部長 平田 正樹

A307 サンプルオキシダイザーについてのお知らせ・ご案内

時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は弊社製品に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

弊社サンプルオキシダイザーは三十数年に渡り皆様にご愛用されてきております。その中で機能改善や部品供給体制を確保するため、若干の部品変更が行われてきました。現行 A307 型の出荷基準には変更がありませんが、2007年3月以降に導入された本装置にて、ユーザー様のスタンダードサンプルにより回収率が異なることが報告されております。

そのような経緯からご参考までに、サンプルオキシダイザーの一般的な 14C-リカバリーテストの手順とその結果について、下記の通りご案内致します。

記

回収率はユーザー様のサンプルで行った場合、そのバッファーなどによるバイアルのクエンチングの度合(tSIE 値)と Counting Efficiency により回収率が異なることがあります。そこで、ユーザー様でお使いのスタンダードでのリカバリーテストの手順をご紹介します。

リカバリーテスト手順

1. Carbo-Sorb E と Permafluor E+ の量を設定します。
2. スタンダードの作成
バイアルにサンプル燃焼時と同じ量の Carbo-Sorb E と Permafluor E+を入れ、サンプル燃焼時と同じ量の R I スタンダードをバイアルに分注します。
3. リカバリーサンプルの作成燃焼
コンバストコーンの中にコンバストパッドを入れて、スタンダード作成時と同じ量の R I スタンダードをコンバストパッド内に分注し、サンプルオキシダイザーにて燃焼します。
4. スタンダードとリカバリーサンプルを液体シンチレーションカウンターにより測定します。

*液体シンチレーションカウンターは、測定精度が確認された装置をご使用願います。

14C-リカバリーの測定結果は、下記の範囲以上で本装置は正常とみなします。

リカバリーサンプル DPM/スタンダード DPM×100 : 96% (+2%・-1%)

注) 上記手順で得られたリカバリーテストの結果が上記範囲を下回り、安定しない場合は修理が必要な場合もありますので、弊社までご連絡ください。

本件に関するお問い合わせ

本件に関してのお問い合わせは下記、本社、支社、営業所にて承ります。

装置に関するお問い合わせ

ライフサイエンス事業部

横浜本社

電話 045-339-5862

東京営業所

電話 03-3866-2647

大阪支社

電話 06-6386-1771

保守・修理に関するお問い合わせ

カスタマーサービス部

電話 045-339-5889